1世帯当たりの郵便料の消費支出

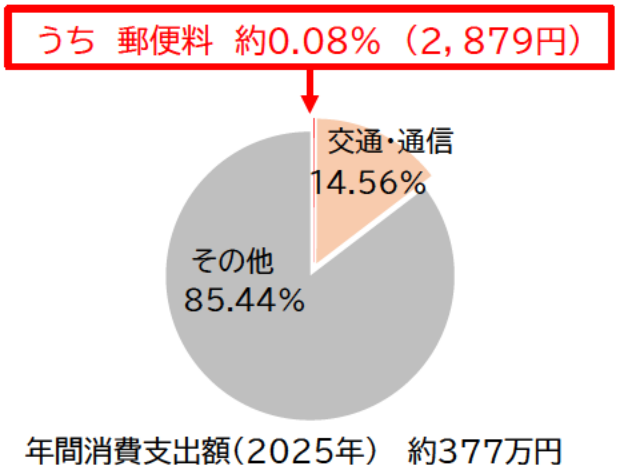
参考資料１

- 郵便物の約2割は個人利用であり、個人利用における郵便サービスの家計負担について、総務省統計局の家計調査によると、2025年の1世帯（二人以上の世帯）当たりの**「郵便料」**（※1）**の年間消費支出額は2，879円**で、**年間消費支出額**（約377万円）**に占める割合は約0.08%**（※2）。
- 11月と12月の合計支出額が「郵便料」の年間支出額の5割以上を占めており、年賀状がその主な要因であると考えられる。
- **郵便料の支出額は減少傾向**であり、家計の消費支出額全体に占める割合も減少している。

（※1）「郵便料」には、ゆうパック、ゆうメール等の郵便局で取り扱う荷物も含む。
（※2）世帯主の年齢階級別に見ても、最も「郵便料」の消費支出額が大きい70歳以上の世帯において、その消費支出額は3,787円であり、同世帯の全体の消費支出額（約317万円）に占める割合は約0.12%。

1世帯（二人以上の世帯）当たりの消費支出に占める郵便料の割合（2025年）

	2025年（令和7年）	割合
① 1世帯当たりの年間消費支出	3,768,007円	100.00%
② ①のうち「交通・通信」	548,754円	14.56%
③ ②のうち「通信」	140,068円	3.72%
④ ③のうち「郵便料」（※1）	2,879円	0.08%



郵便料の支出額の推移

